

○県の保有個人情報の漏えい事案概要【令和7年度下半期分】

1 事案件数 4件（うち、非公表基準該当0件）

2 事案の概要及び今後の対策

NO	所属	発生日	事案の概要	発生原因	対応	二次被害の有無	再発防止策	備考
1	県立学校	R7. 12. 2	県立高校でR6年度に利用していたクラウドサービス事業者に対する外部からの不正アクセスにより、データベース内に保存されていた83人分の氏名、性別等の個人情報が漏えいしたおそれがあったもの	事業者に対する外部からの不正アクセスによるもの	<p><事業者の対応> 不正アクセス経路の遮断及び認証方式の強化等の技術的対応のほか、全社危機管理体制の見直し等の組織的対策を行った。</p> <p><県の対応> 文書により当該生徒及び保護者に説明した。卒業生には文書を送付した。</p>	無	<事業者の対応>に記載された対策を継続実施	R7. 12. 22個別公表事案
2	出先機関	R7. 3. 17	当該出先機関において、Aさんに関する書類にBさんの氏名が記載された事務連絡のメモが混入した封筒をAさんの保護者宛に送付したもの	担当職員が1人で封筒詰め作業を行っており、別の書類が混入していないか等の確認が不足していたもの	混入したメモに氏名の記載があったBさんの保護者及びAさんの保護者に、それぞれ経緯の説明と謝罪を行った。	無	書類の紛れ込みや紛失を防ぐため、事務机や作業カウンターの上を常に整理整頓することとした。 書類の提出や郵送する際には必ず複数で確認を行うことを改めて徹底した。	
3	県立学校	R8. 2. 16	入学者選抜合格者に対し合格通知及び入学関係書類を送付したところ、入学関係書類に異なる合格者の氏名が記載されていたもの（16名）	封入担当者が、合格者の氏名の記載がされていることを見落としたもの	合格者全員の保護者に電話で経緯を説明のうえ、自宅を訪問し、謝罪と郵送した書類の回収を行った。	無	封入する全ての書類の記載内容を複数人で確認することを徹底することとした。 個人情報を含む書類であることが明確にわかるように書類の受け渡しに使用するクリアファイルの色等で識別できるようにし、周知徹底を行った。	
4	出先機関	R8. 3. 18	工事の公告を入札情報サービスのシステム上で行った際、添付した図面に2名の個人名が記載されていたもの	添付した図面について、作成者の確認や精査担当のチェックが不十分だったことによるもの	<p>システムに登録した当該図面を速やかに削除し、個人名のない図面を新たに登録した。</p> <p>入札参加資格申請書を提出していた業者に対し、当該図面を確実に廃棄のうえ、新たに登録した図面により見積もるよう懇請した。</p> <p>図面に個人名の記載があった2名の方の自宅を訪問し、状況の説明と謝罪を行った。</p>	無	本事案及び個人情報の適正な取り扱いを所属職員へ周知し、注意喚起及び意識の高揚を図った。 金抜き設計書からの個人情報の削除及び複数人でのチェックを徹底した。 チェックシートに個人情報に関するチェック欄を追加した。	

※なお「1 事案件数」のうち、次の非公表基準に該当するものは、「2 詳細」に掲載していません。

<非公表基準>

- (1)公表することで個人の生命、身体、財産の安全を侵害するおそれがあると認められる場合
- (2)公表することで捜査及び裁判に支障を及ぼすおそれがあると認められる場合
- (3)被害者が公表を望まない意思を明確に示した場合
- (4)上記(1)から(3)に掲げる事案のほか、非公表とすることに相当の理由があると認められる場合